

## 公園でのボール遊びについて



高松町地区

立川第二中学校一年

横田 京之介

僕の家の近くには、いくつかの公園があります。でも、どの公園にも「ボール遊び禁止」という看板があります。前は友達とサッカーをしたりして遊んでいました。でも最近は、それができなくなってしまいました。

ある日、「ボール遊び禁止」のことを知らずに、友達とサッカーボールでパスの練習をしていたら、近くを通ったおじさんに、「ここは、『ボール遊び禁止』だよ。」と注意されました。僕たちはすぐにやめました。その後ずっとモヤモヤした気持ちと同時に、「じゃあどこでやればいいんだよ。」と少しイライラした気持ちが残りました。

公園は、みんなの場所なのにどうしてボール遊びが禁止されてしまうのか僕はとても不思議に思います。公園はみんなが使える場所です。そのため、いろいろな人が気持ちよく使えるようにすることは大事だと思います。だからと言ってボール遊びを全部「禁止」にするのは少し納得できません。確かにボールが飛んで人に当たったり、道路に出てしまったりすると危ないです。でも、それなら「どうすれば安全に遊べるか」を考えることが大事だと思います。いきなり「禁止」にするのではなく、ルールを作ったり、工夫をしたりすれば、みんなが気持ちよく使える公園になるはずです。例えば、柔らかいボールだけを使うようにしたり、ボー

ルが外に出ないように、高めのネットやフェンスをつけたりする方法があります。他にも、時間をきめて、「午後3時から5時まではボール遊びオーケー」や、曜日を決めて、「水曜日と日曜日はボールを使ってもいい」などを決めるなどのルールを作るのもいいと思います。そうすれば静かに過ごしたい人と、ボールで遊びたい人が、時間や曜日を分けて使えるようになり、どちらの人もいい気持ちで公園を使用できると思います。

そして最近は外で遊ぶ子供が減っていると言われていますが、その原因は遊ぶ場所が少なく、公園の遊具なども少なかったり、ボール遊び禁止のように、自由に遊べなくなっているからだと思います。公園で自由に遊べないと、やることが限られるため、家の中でゲームやスマホの時間が多くなってしまいます。

僕は友達と外で遊ぶのが大好きです。ゲームや、スマホも楽しいけれど、公園で遊ぶ時間は僕にとって大切な時間です。だから、サッカーやキャッチボールなどのボール遊びができないのはすごく悲しいです。

公園は子供や大人、お年寄りも使う場所。だからこそ、大人中心で考えるのではなく、みんなが気持ちよく使えるように話し合ったり、ルールを決めたりすることが必要だと思います。「危ないから禁止」で解決するのではなく、「工夫」や「相談」で解決してほしいです。子供達が元気に遊べる場所を作ること、未来を創ることだと思います。そして僕たちが、また安心して、楽しくボール遊びができ、みんなが気持ちよく過ごせる公園を作って欲しいです。